

iシェアーズ  
月次ETF\*資金流入レポート



**渡邊 雅史**  
ブラックロック・ジャパン株式会社  
iシェアーズ事業部  
ストラテジスト

ETFは世界中で約5000本が上場され、機関投資家・個人投資家の双方に活用されています。その規模は2.4兆ドル（約240兆円）を超えています。

ETFは株式市場で株式のように取引される一方で、上場「投資信託」であり、投資信託としての資金の出入りが日々発生\*\*しています。世界中で様々な投資家が利用しているETFの資金流入は、世界の投資家の動向を探る上でも有用な情報になると考えられます。

当レポートでは、世界のETFの資金流入の状況をまとめ、それらから見えてくる世界の投資家動向についてご紹介していきます。

\*ETF(Exchange Traded Fund)のほか、ETN(Exchange Traded Note)、ETC(Exchange Traded Commodity)、ETI(Exchange Traded Instrument)等の上場金融商品を含みます。  
\*\*ETF独自の「設定／交換」と呼ばれる現物バスケットと受益権の受け渡しによりETFへの資金流入が発生します。（すべてのETFが現物での設定／交換を行うわけではありません）

2014年3月のETF資金流入 ～米国株へ流入も、それ以外の先進国は低迷～

2014年3月のETFへの資金流入は、129億ドル（約1.3兆円）の流入となりました。

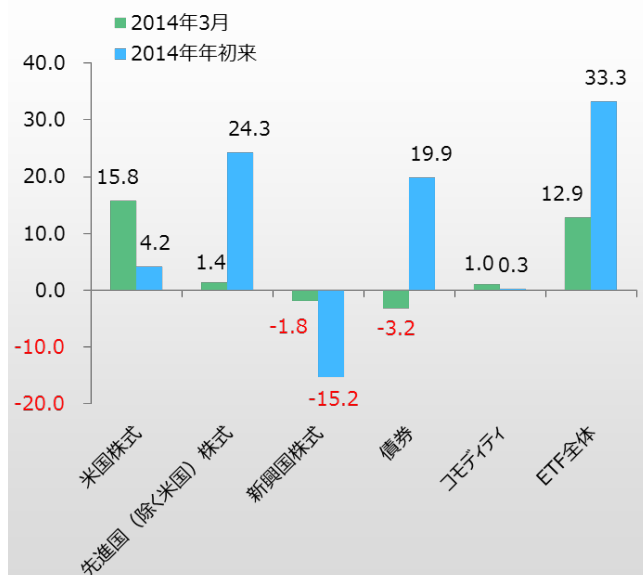
イエレンFRB議長が市場予想よりも早く利上げに関しての言及をしたことで、一時的に減退することもあったものの、消費者信頼感や個人消費などのデータが良かったことで、米国株式ETFへの資金流入は158億ドルとなりました。一方で、債券のETFからは若干の流出（-32億ドル）となり、基本的には債券から株への動きが顕著でした。

年初来継続していた米国以外の先進国株式のETFへの資金流入はやや低調になりました。主要国である日本と欧州が若干ではあるものの流出となりました。日本の消費税増税を見定めた動きや、ウクライナ問題等が資金流入に歯止めをかけてしまった模様です。

新興国株ETFからは月間で見るとやや流出方向になりますが、最終週からは資金が大きく流入してきており、マネーの流れが変化しつつある可能性が考えられます。

金などのコモディティ関連商品への資金流入は、イエレンFRB議長の発言への懸念から低調でした。

【世界のETFの資金流入（十億ドル）】

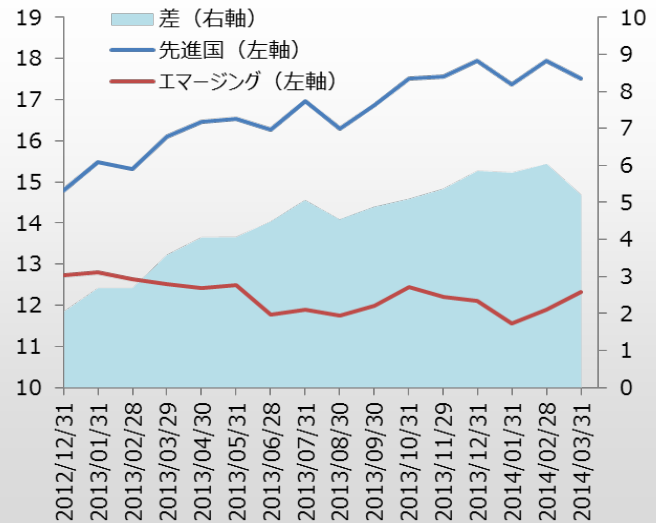
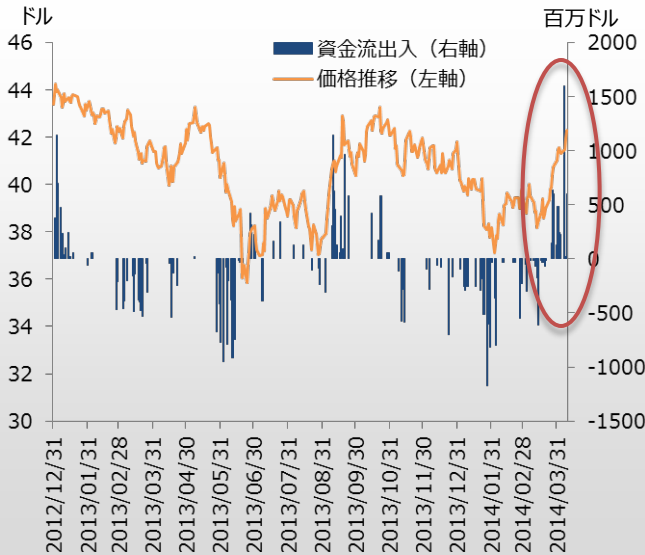


出所：ETP Landscape Mar 2014, BlackRock

当資料は情報提供を目的として作成されたものであり、特定の金融商品取引の勧誘を目的とするものではありません。当資料は当社が信頼できると判断した資料・データ等により作成しましたが、その正確性および完全性について保証するものではありません。また、当資料中の各種情報は過去のものであり、今後の運用成果を保証するものではなく、当資料を利用したことによって生じた損失等について、弊社はその責任を負うものではありません。さらに、本資料に記載された市況や見通しは作成日現在の当社の見解であり、今後の経済動向や市場環境の変化、あるいは金融取引手法の多様化に伴う変化に対応し、予告なく変更される可能性があります。

## ETFから見る世界の投資家動向 ～ついにエマージング株へ食指を伸ばしたか？～

【EEM(iシェアーズ MSCIエマージング・マーケットETF)の価格推移と資金流入】 【MSCIの先進国指数とエマージング指数のPER(株価収益率)の推移】



出所：ブルームバーグ

昨年(2013年)は先進国優位の一年でした。日本株や米国株はエマージング株をアウトパフォームし、投資家は新興国に目を向けていないかのようでした。その間、エマージング株式はPERベースで先進国に対してかなりの割安水準になってきていましたが、割安といわれ続けながらも継続的に株価が上昇するような動きもなく、ETFからの資金流出も非常に目立っていました。

ところが、この3月の最終週から急速にエマージング株のETFへの資金流入が発生しています。特にEEM(iシェアーズ MSCIエマージング・マーケットETF)への流入は、昨年の10月以来の流入となります。まずは空売りをしていた投資家はそのポジションを解消しているのではないかとの見方もあるため、慎重にこの状況を見る必要がありますが、米国株→日本株→欧州株と続いてきた資金流入の動きを見ていると、いよいよ投資家がエマージング株をその視野に入れてきた可能性も十分に考えられそうです。

### ETFの主な投資リスクについて

ETFは投資元本および投資元本からの収益の確保が保証されているものではありません。運動を目標とする指数、組入れ有価証券の価格変動、金利及び外国為替の変動等の要因によりETFの価格は変動することから、投資者は損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ETFの価格が変動する要因や変動の大きさは、各商品及び各商品が運動を目標とする指数等により異なります。また、エマージング市場・フロンティア市場への投資では、一般に変動が大きくなります。

### 手数料、費用等について

【売買時の手数料】当ETFを売買する際の手数料は取扱い金融商品取引業者(証券会社)等によって定められます。詳しくは取扱会社までお問い合わせください。【保有時の費用】当ETFの保有期間中は運用管理費用等を間接的にご負担いただきます。保有時の費用の率(総経費率)は個別のETF/JDR毎によって異なり、また運用状況や保有期間等に応じて異なることからその上限額を示すことはできません。詳細は取扱い金融商品取引業者(証券会社)にてご確認ください。またiシェアーズのウェブサイト(<http://jp.ishares.com/>)にて当ETFに関する情報を開示しております。

## ブラックロック・ジャパン株式会社

iシェアーズ事業部 TEL 03-6703-4110(部代表) <http://jp.ishares.com/>  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第375号  
加入協会/一般社団法人 日本投資顧問業協会、一般社団法人 投資信託協会、日本証券業協会